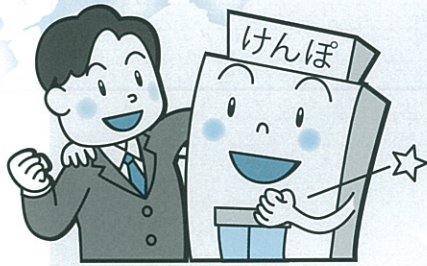


# 健保は「保健事業」でみなさんの 健康管理・健康づくりを 積極的にサポートしています。



健保組合では、みなさんの保険料を医療費の支払いという「病気にかかったときの費用負担」だけでなく、みなさんに心身ともに健やかで生き生きとした日々を過ごしていただけるよう、さまざまな「病気にかからないための予防事業」を展開しています。

## あなたに寄り添った事業を独自で展開

健保組合は、協会けんぽや国保と異なり、健康保険法に則って国に代わって独自に運営しています。そのため、会社の業種特有の健康課題や、加入者のみなさんの健康状態にあった事業をきめ細やかに実施することができます。健保組合が実施している「保健事業」の内容や特徴を知って、上手に健康管理・健康づくりに生かしましょう！

## 保健事業の3本柱「保健指導宣伝」「疾病予防」「体育奨励」

なかでも、健康管理に活用していただきたい健康情報の発信（保健指導宣伝）、健診受診など疾病予防、健康保持・増進への奨励（体育奨励）という3つの事業を中心に、積極的に取り組んでいます。

### 健康情報の発信 (保健指導宣伝)

- 機関誌・WEB等での広報
- 疾病予防冊子等配布
- ジェネリック医薬品の奨励
- 健康優良者表彰
- 健康電話相談

etc



### 疾病予防

- 特定健診 ● 特定保健指導
- 人間ドックの補助
- がん検診 ● 歯科保健事業
- 予防接種（インフルエンザ等）
- 常備薬等の斡旋

etc



### 健康保持・増進への奨励 (体育奨励)

- 保養施設利用促進
- スポーツジム等利用補助
- ウォーキングプログラム
- 禁煙キャンペーン

etc



## 多くの健保が注力する疾病予防。 さまざまな健診事業で病気を予防

疾病予防の第一の目的は、健診による病気の予防です。健保組合の多くは、保健事業のなかでもこの健診事業にもっとも注力しています。

健保組合では、被保険者本人を対象にした健診はもちろん、つい健診を後回しにしがちなご家族の健康管理も怠っていません。

また、40歳から急増するといわれている生活習慣病予防を目的とした特定健診・特定保健指導も、40歳以上の本人・ご家族のすべての方を対象に実施しています。さらに、がん検診など特定の疾病の発見につながる検診なども加え、さまざまな方向から病気予防に取り組んでいます。

体の異常、病気の芽を早期に発見・予防するのもっとも有効なのが健診です。健保組合では、一人でも多くの方が定期的に健診を受けられ、病気発症や重症化を予防できるようこれからも取り組んでまいります。

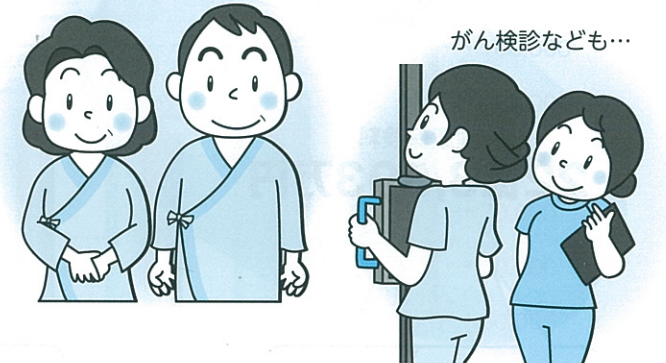
## さまざまな事業で病気を予防

ご家族の健康管理も…



40歳以上対象、  
特定健診・特定  
保健指導も…

がん検診なども…



## みなさんの健康サポートのために進化し続ける保健事業

保健事業の実施により病気を予防することは、医療費抑制、さらに、高齢期の健康維持にもつながっています。平成27年度からスタートした「データヘルス計画」では、ICTを活用して、みなさんの実態にあったより効率的・効果的な保健事業の実践が求められています。

また、みなさんの健康が事業主の生産性の維持・向上にもつながることから、これからの保健事業は、健保組合単独で実施するのではなく、事業主との協働（コラボヘルス）が必要になっています。

まずは、健保組合が発信する健康情報に関心を持ってみてください。きっと日々の暮らしにプラスになる情報があるはずです。そして、ご家族とともに年に1度は健診を受けて、自分と家族の健康状態を把握しておきましょう。今は異常がなくても、前回と比べて変わっている数値があれば、それは体が示す健康の注意信号かもしれません。

さらに、健康づくりのために何かに取り組んでみましょう。健保組合は「保健事業」でそんなあなたをいつでもサポートしています。



ICTって何？

ICTとは、「情報伝達技術」のこと。パソコンやインターネットなどの情報通信技術「IT」を利用するだけでなく、情報や知識を健保とみなさん、事業主で共有・伝達しあうことで、保健事業をより効率的・効果的なものにしていきます。



※保健事業は、健保組合ごとに独自の事業を展開していますので、詳しくは健保組合にお尋ねください。